



大友 静子さん
おおとも・しずこ

昭和16年5月8日、宮城県亘理町荒浜で、兄3人妹3人の7人兄弟の長女として生まれる。77歳。

●昭和35年宮城県立第二女子高等学校を卒業。39年、お見合いで大友啓充氏(80歳)と結婚。事業後継者がいなかったため、平成10年4月、株高時にM&Aで売却。(株)進産業時代は専務取締役として経営に参加する。

●現在は仙台市青葉区中央2丁目に大友ビルなどを所有、管理運営など不動産賃貸を行っている有限会社大友エステート専務取締役。長男長女に恵まれる。お孫さんは4人。

●平成27年から5代目の宮城県防衛協会女性部会長に就任する。会長職は1期2年で、現在は2期目(2019年5月まで)にある。

です。
大友 宮城県民の皆さまに防衛意識の一層の普及を促すため、自衛隊員への激励や慰問と様々な行事への協力をしています。具体的には会員の防衛に関する知識の向上のための研修会や講演会などを開催したり、自衛隊の活動や行事に対する協力・支援、また自衛隊員に対する激励などを行っています。全国組織の全国防衛協会連合会の宮城県組織です。
東日本大震災の時は千葉県女性部会から義捐金などいただきました。震災2年後にお礼に伺い、熊本地震の時はお見舞金をお渡しに行き、交流を深めてきました。

菅原 女性部会では、具体的にどのような活動を行っているんですか。
菅原 女性部会を運営される、課題は何でしょうか。
大友 東日本大震災の復興復興作業のときの自衛隊員の

活躍を国民誰もが目にしていたのですが、災害時ばかりではなく毎日、国民の生命と財産を守るために、隊員一人ひとりが責任を持って即応態勢で働いているおかげで、平和に毎日を暮らすことができているということも、もって知ってほしいと思うんです。
女性自衛官ならではの苦勞や悩みも私たち民間人と同じなんです。こうした中で、様々

大友 宮城県の女性部会は平成4年に発足して現在、会員数は50人です。会としてはともまっています。主に自衛隊行事などへの参加や各部隊への表敬訪問を兼ねた研修など1年間5、6回開催していますが、宮城だけの活動として自慢できるのが、女性自衛官の皆さまとの交流や激励会などを行っていることです。

食事と一緒にとりながら、女性ならではの話しでも盛り上がりがあります。私どもの世界では分からない苦勞話などもお聞きできます。



宮城県防衛協会女性部会総会(2017年5月。仙台駐屯地)



ご主人の大友啓充氏と国内外での旅行を楽しむ

な交流などを行っていくことはとても大事なことです。しかし、女性部の会員も高齢化の波が押し寄せています。どなたでも入会できますので、

ぜひ若い女性にも入って一緒に活動していただきたいと思っています。
菅原 大友さんのお話をお聞きしただけでも、女性部の活動は楽しそうです。
菅原 ご趣味は何ですか。
大友 日進産業時代から海外旅行が好きで、よく行きました。ただ、事故などのときに対応できるよう経営層は同時にには行きませんでした。今はようやく主人と旅行を楽しんでいます。

菅原 ありがとうございます。今後はもう少し活躍を期待しております。

清月記 SPECIAL対談 大友静子さんが語る「女性の生き方」

仙台で不動産の運営、賃貸業を営みながら、自衛隊を応援する宮城県防衛協会女性部会長にある大友静子さん。宮城県ならではの女性自衛官との交流を始め、あまり知られていない女性会の活動についてお聞きした。

「ぜひ若い女性にも入ってほしい」

菅原 大きな網元さんですね。学校はどちらに進まれたのですか。
大友 地元の小中学校の後、昭和35年に宮城県立第二女子高等学校を卒業しました。当時は学校まで電車と歩き、通学にかなり時間がかかりました。とくに土曜日は電車が少なく自宅までは3時間くらいかかり、最初は辛かったです。そのうち辛くなりました。

菅原 大友さんはいいつもパタリテイに溢れ、パワフルです。ご出身はどちらですか。
大友 宮城県亘理町の荒浜です。兄3人、妹3人の長女として生まれました。父の喪七(いなしち)は、幸生丸など3艘の漁船を所有していました。



菅原 裕典 すがわら・ひろのり
1960年宮城県塩釜市生まれ。83年東北学院大学経済学部経済学科卒業。83年名古屋・中京葬儀社入社。85年3月、父・清一とともにすがわら葬儀社設立。1991年、株式会社すがわら葬儀社の組織変更。2000年工ボックせがわら葬儀社代表取締役。2001年せんだい東工工ム放送取締役。2001年4月より社会福祉法人無量壽会理事長就任。2011年5月認定NPO法人J.E.T.Oみやぎ理事長就任。2015年1月仙台市青葉区木町通「仙台迎賓館「落苑」」運営2015年7月。国際ロータリー第2520地区ガバナー就任。



宮城県防衛協会女性部会総会(2017年5月。仙台駐屯地)



アメリカ軍兵士とのホームビジット交流(2018年2月)

菅原 ご結婚は。
大友 高校卒業後は、花嫁修業をして39年にお見合いで結婚しました。主人は、豆腐の製造機械や材料などを販売する(株)進産業を、仙台市青葉区中央と卸町で経営していました。結婚して1カ月後に社員となり、専務取締役とし

て経営にも参加していました。
青森県や秋田県のお客さまも多く、東北6県が主な営業先でした。お客さまを自宅に招き、私の手料理で、よくおもてなしをしておりませんが、和食が得意なんです。そのために、1年間料理専門学校に通いました。

菅原 学校に通われたんですか。それはすごいです。ご夫婦が揃ってお客さまを大事にするというお気持ちと行動は、商売をしている以上、非常に大切なことですね。

菅原 学校に通われたんですか。それはすごいです。ご夫婦が揃ってお客さまを大事にするというお気持ちと行動は、商売をしている以上、非常に大切なことですね。

大友 あいにく事業継承者がいなかったこともあって、株高時に会社を売却して、現在は、不動産の運営賃貸業の大友エステートの専務をさせてもらっています。



清月記総本社で

清月記は新しい葬送のスタイルをご提案します。

人は海へ、大自然へ還る。

海洋葬 ~オシャン エンディング~
Ocean Ending

穏やかな自然とともに眠る。

樹木葬 ~グリーン エンディング~
Green Ending

樹木葬とは、文字通り樹木や木立の幹木を墓石の代わりに自然葬のついでです。故人の想や歴史が、墓石に代わり、自然に還り、自然と一体化するという「オシャンエンディング」の形態を実現するために、清月記は海洋葬の手はずも動かし、

樹木葬型公園墓地
《蔵王メモリアルパーク 風の丘》好評受付中! 73万円~

0800-888-5777
https://www.seigetsumi.jp/

清月記グループ